

平成26年7月2日

大阪府支援教育研究会 会員 様  
特別支援教育関係者 様

大阪府支援教育研究会  
会 長 森 田 義 昭  
(茨木市立大池小学校 校長)

## 大支援研研究部 ICT 活用プロジェクト夏期講座案内（2次案内）

大阪府支援教育研究会研究部 ICT 活用プロジェクト夏期講座を下記の要領で実施いたします。  
多数のご参加をお待ちしております。

### 記

1. テーマ 9月から使える支援教育での ICT 活用
2. 日 時 8月14日（木）、15日（金）（午前講座：9:30～12:30、午後講座：13:30～16:30）
3. 会 場 大阪府教育センター  
〒558-0011 大阪市住吉区茱田 4-13-23  
・地下鉄御堂筋線  
「あびこ」駅下車 ①番出口、東北東へ約700m  
・JR阪和線  
「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m  
・近鉄南大阪線  
「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m  
**※公共交通機関でのご来場をお願いします。**
4. 参加費 無料（ただし、材料費等が必要な講座があります）
5. 定 員 各講座先着順で定員まで受け付け（申し込み状況をHPでお知らせします。）
6. 申し込み 下記申込先まで、以下の内容を明記の上、  
e-mailにてお申し込みください。（必ず**受付受理のメール**を返信します！）  
1) 氏名・所属                  2) 連絡先（e-mail）  
3) 参加希望講座記号      4) 懇親会参加の有無（14日（木）の講座終了後 開催）  
  （※会場予定 大阪府教育センター近辺のお店）
7. 申し込み先 平峰 厚正（泉南郡熊取町立南小学校）  
問い合わせ e-mail：ict2014※daishienken.visithp.com  
                                （※印を@に変えてください）  
※問い合わせは、**パソコンのe-mail**にてお願いします。  
※講座資料をメール添付で送ることがあります。  
※yahoo メールで**受理メール**を送ります。  
なお件名は「**大支援研 ICT 活用夏期講座 問い合わせ**」でお願いします。  
※会場の大阪府教育センターに直接電話等で問い合わせしないようにお願いします。
8. 講 座  
講座は、両日とも午前の部（AM）9：30～12：30、午後の部（PM）13：30～16：30で設定しておりますが、講座によっては、開始時刻及び終了時刻が異なる場合があります。また、複数の時間帯にまたがる講座もございます。各講座の時間帯をご確認のうえ、参加講座をお選びください。

## 講座一覧

記号	講座（講演、講義、PC 講座、体験会、製作講座） 講座名	14 日（木）		15 日（金）	
		AM	PM	AM	PM
A	講演「今、目の前にいる子の「わかった」を目指して ～ICT で広がった可能性～」 講師：井上賞子 先生 定員：60名 会場：別館4階 第7研修室	○			
B	講座「重複障がい児のための支援機器の実際」 講師：川村弘之 先生、田代洋章 先生、中野雄司 先生 定員40名 会場：別館5階 第10研修室	○			
C	講座「プレゼンテーション APP.Keynote を使った iPad での教材づくり」 講師：根本貴明先生 定員20名 ※「要：iPad 持参」 会場：別館4階 第6研修室		○		
D	講義「特別支援教育における ICT 機器の現状と課題（仮）」 講師：丹羽 登 先生、金森克浩 先生 コーディネート：田村真一先生 定員60名 会場：別館4階 第7研修室		○		
E	講座「ICT を活用した支援のちょこっとアドバイス ～算数のつまずき解消法～」 講師：近藤春洋 先生 定員40名 会場：別館4階 第8研修室		○		
F	展示会「支援機器展示会」 講師：大阪府立支援学校の先生 定員なし 自由参加の展示会です！ 会場：別館5階 第10研修室		○		
G	PC 教材 14 日講座「パワーポイントで作るスイッチ教材ソフトの制作 ～オートスキャンもできるよ♪～」 講師：竹島久志 先生、太田恭平 先生、小笠原新 先生、児玉雅明 先生 定員20名 会場：本館3階 情報教育研修室		○		
H	講座「Windows の支援機能をトコトン使う ～ 特別なニーズのある児童生徒への入力支援 ～」 講師：伊丹一弘 先生、田代洋章 先生 定員25名 会場：本館3階 CAI 研修室		○		
I	製作講座「ぴかりん棒の製作」 午前制作・午後講義（1日講座） 講師：田中敏弥 先生 定員20名（材料費：1000円） 会場：本館4階 電子技術実験室	○	○		
J	講座「iPad APP.ロイロノートを利用したビデオ教材づくり」 講師：根本貴明 先生 定員20名 ※「要：iPad 持参」 会場：別館4階 第6研修室			○	
K	講座「教材データベースの開発と運用」 講師：西端律子 先生 定員30名 会場：別館4階 第7研修室			○	
L	講座「シンボルを使った教材とその活用方法 ～概念の指導とコミュニケーションの指導～」 講師：岡田さゆり 先生、永野健一 先生、藤澤和子 先生、榎場政晴 先生 定員40名 会場：別館4階 第8研修室			○	
M	体験会「iPad で教材を作ってみよう」 講師：井上賞子 先生 定員30名 会場：別館5階 第9研修室			○	

講座（講演、講義、PC 講座、体験会、製作講座）		14 日（木）		15 日（金）	
記号	講座名	AM	PM	AM	PM
N	講義「マルチメディア DAISY の紹介と事例報告」 定員 40 名 講師：田中直壽 先生 会場：別館 5 階第 10 研修室			○	
O	PC 教材 15 日講座「パワーポイントで作るスイッチ教材ソフトの制作 ～オートスキャンもできるよ♪～」 定員 20 名 講師：竹島久志 先生、太田恭平 先生、小笠原新 先生、児玉雅明 先生 会場：本館 3 階 情報教育研修室			○	
P	講座「学校生活の流れを視覚化して、 子どもにとって見通しのもてる手立てをパソコンで作ろう」 定員 30 名 講師：大前洋介 先生、荒井亮一 先生、新澤勝彬 先生 会場：本館 3 階 CAI 研修室			○	
Q	製作講座「BD アダプター・スイッチ・玩具の製作と活用」 定員 20 名 (材料費：基本 1800 円、オプション 6000 円) 講師：禿 嘉人 先生、外山世志之 先生、谷本式慶 先生、平澤庄吾 先生 会場：本館 4 階電子技術実験室			○	
R	講座「近畿の先生、大集合！」 定員 60 名 司会：大阪府立支援学校の先生 会場：別館 4 階第 7 研修室				○
S	講座「教えて！ゴール先生」 定員 25 名 講師：秋 裕基 先生 会場：本館 3 階情報教育研修室				○
T	講座「Office ソフト活用初級講座～シンボルを貼り付けてみよう！」 定員 25 名 講師：岡本崇志 先生 会場：本館 3 階 CAI 研修室				○
U	製作講座「スイッチ対応学習型赤外線リモコンの製作と活用」 定員 20 名 (材料費：5000 円) 講師：禿 嘉人 先生、外山世志之 先生、谷本式慶 先生、平澤庄吾 先生 会場：本館 4 階電子技術実験室				○

※ 詳細がまだ未確定な講座もあります。決まり次第、大支援研 HP に UP します。HP もご確認ください。

9. 懇親会 8 月 14 日（木）の講座終了後、懇親会を予定しております。  
(参加費は実費で、会場は当日、お知らせします。会場は大阪府教育センター近辺です。)

※参加いただける方は、申し込み時にお知らせください。

10. 講座申し込み締切日 7 月 31 日（木）

11. 備考 ※定員に満たない講座は、当日参加も可能です。HP の参加者状況をご確認ください。  
ただし、準備上の都合がありますので、できる限り、7 月末までに事前申し込み  
をお願いします。

※yahoo メールで受理メールを送ります。

※C 講座、J 講座は「要：iPad 持参」です。講座内容詳細の備考欄をご確認のうえ、  
指定の条件の iPad をご持参ください。

★大阪府教育センター内では名札が必要ですので、各自で名札をご持参ください。

12. 協力団体 ICT 活用プロジェクト夏期講座の開催に当たり、「大阪支援教育コンピュータ研究会」  
の全面的な支援と協力をいただいています。

### 13. 大支援研 ICT 活用プロジェクト夏期講座 各講座の内容概略

各講座内容の概略です。備考欄には、参加に必要な機器や持参する物等の記載がございますので、よくお読みください。

講座A	14日(木) 講演 9:30~12:30 会場: 別館4階 第7研修室	定員	60名
講座名	「今、目の前にいる子の「わかった」を目指して~ICTで広がった可能性~」		
講師	井上 賞子 先生 (松江市立意東小学校 教諭)		
内容&紹介			
<p>通常学級の担任だった時代、通級指導教室担当だった時代、支援学級を担任している今、それぞれの場面で出会った子ども達の姿から、「一人一人に合った学び方」の大切さを感じています。</p> <p>特に「学びにくさ」のある子ども達にとっては、その子に適した手だての有無が、時に学習参加全体へも関わってきます。それは、裸眼では見えにくい人にとっての眼鏡のように、足の不自由な人にとっての車いすのように、「前提条件として」必要なことだと、子ども達の姿から痛感させられています。</p> <p>手さぐりではありますが、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「今」の困難は何か</li> <li>・それはどんな「背景」から起こっていると考えられるのか</li> <li>・では何を「支えれば」いいのか</li> <li>・具体的にはどんな「手だて」が考えられるのか</li> </ul> <p>を悩みながら考えて取り組んできた支援学級での指導事例の中から、ICTを活用した取り組みを中心にお話したいと思っています。</p>			

講座B	14日(木) 講義 9:30~12:30 会場: 別館5階 第10研修室	定員	40名
講座名	「重複障がい児のための支援機器の実際」		
講師	川村 弘之 先生 (大阪府立守口特別支援学校 教諭) 田代 洋章 先生 (株式会社アシスト・アイ代表取締役) 中野 雄司 先生 (株式会社コム・フレンド)		
内容&紹介			
<p>支援機器の対象児童生徒の事例報告とICT機器の説明、紹介をいたします。</p> <p>株式会社アシスト・アイ様からは、OAK(Observation and Access with Kinect)を紹介していただきます。OAK(オーク)は、空間に仮想スイッチを作成し、顔の表情を変えることでスイッチにしたり、目や口、手や首の動きを認識してスイッチとして使用できる、入力支援機器です。従来のスイッチのように、機器を体に装着するのではないうえ、体の動きを履歴として保存し、子どもの小さな動きや変化の理解にも役立ちます。</p> <p>株式会社コムフレンド様からは、従来の入力支援機器、コミュニケーション補助器具としてのシンボルカードや、読んでくれるペン、タイムエイド、騒音計や、教室の環境調整器具としてパーテーションやスケジュールボードの実際を紹介していただきます。</p>			

講座C	14日(木) iPad教材作り 13:30~16:30 会場: 別館4階 第6研修室	定員	20名
講座名	「プレゼンテーションAPP.Keynoteを使ったiPadでの教材づくり」		
講師	根本 貴明 先生 (大阪府立箕面支援学校 教諭)		
内容&紹介			
<p>iPadの利用が浸透してきて、様々なAPPを紹介しているサイト等も増えています。多種多様なAPPの中には支援教育の現場でも有用なものも沢山あります。</p> <p>今回はKeynoteというプレゼンテーションAPPを活用して、先生方が目の前の児童生徒に示したい教材のアイデアを形にしたいと思います。もちろん、プレゼンテーションAPPとしての基本機能を押さえ、提示用としての活用を基本と一緒に研究しましょう。</p>			
備考			
※KeynoteのインストールされたiPadを持参して下さい。			

講座D	14日(木) 講義 13:30~16:30 会場: 別館4階 第7研修室	定員	60名
講座名	「特別支援教育におけるICT機器の現状と課題(仮)」		
講師	丹羽 登 先生(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官) 金森克浩 先生(独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 教育情報部総括研究員) コーディネーター: 田村真一先生(高槻市立高槻小学校 校長)		
内容&紹介			
特別支援教育におけるICT機器の全国での現状や今後の方針などを文科省調査官と特総研研究員のお2人にそれぞれ1時間ずつお話していただきます。最後は現役小学校校長を交えながら3人で座談会をしていただく予定です。			
備考			

講座E	14日(木) 講義 13:30~16:30 会場: 別館4階 第8研修室	定員	40名
講座名	「ICTを活用した支援のちょっとしたアドバイス~算数のつまずき解消法~」		
講師	近藤 春洋 先生(DDサポートひらかた コーディネーター)		
内容&紹介			
算数を苦手としている子どもの学習のようすをみると、「たし算や引き算で指を使ってしまう。」「位の意味が分からない」「繰り上がり繰り下がり計算が不安定」「かけ算の文章題が苦手」「かさの単位L・dL・mLの違いが分かりにくい」「1/3を1/2よりも大きいと捉えてしまう」などのつまずきがみられます。 このようなつまずきを見せる子どもの中に算数障がいと思われる子どもが少なからず存在し、近年の脳科学の知見から、脳内での量のイメージ(量表象)に関わる部分の機能がうまく働いていないことが明らかになっています。そして、空間の中での物の状態・物の操作がしっかりとイメージできる『数と空間を結びつけるアプローチ』が有効と考えられています。 そのようなアプローチの一つとして、「具体物とPCソフトを相互補完的に使った支援」のお話をさせていただきます。			
備考			

講座F	14日(木) 13:30~16:30 会場: 別館5階 第10研修室	定員なし	フリー参加
講座名	展示会「支援機器の展示」		
講師	大阪府立支援学校の先生		
内容&紹介			
大阪府支援教育コンピュータ研究会メンバーのナビゲートにより、株式会社アシスト・アイさんと株式会社コムフレンドさんを中心に機器の展示をしていただきます。休憩時間などを利用してぜひご覧ください。出入り自由です。			
備考			
※事前の参加申込みが必要ありません。フリーで参加できます。			

講座G	14日(木) 13:30~16:30	会場：本館3階情報教育研修室	定員	20名
講座名	「パワーポイントで作るスイッチ教材ソフトの制作～オートスキャンもできるよ♪～」			
講師	竹島 久志 先生 (仙台高等専門学校 情報システム工学科 教授) 太田 恭平 先生 (仙台高等専門学校 情報システム工学科 学生) 小笠 原新 先生 (仙台高等専門学校 情報システム工学科 学生) 児玉 雅明 先生 (仙台高等専門学校 情報システム工学科 学生)			
内容&紹介	重度肢体不自由児の学習に必要なとなる、クリック及び選択可能な学習ソフトをマイクロソフト社のパワーポイントで作ります。パワーポイントはプレゼンテーション制作ソフトですが、アニメーション機能等を利用することで学習ソフトの制作も行えます。前半は、パワーポイントを使ったスイッチ教材ソフトの基本動作をサンプルソフトの制作を通して説明します。後半は、各自オリジナルのクリック教材及び選択教材ソフト制作に挑戦します。			
備考	情報教育研修室に設置してあるパソコンを使用します。 使いたい写真等があれば、各自 USB に入れて持ってきてください。 講座Gと講座Oは同じ内容の講座です。ご都合の良い日にご参加ください。			

講座H	14日(木) 講義と実技 13:30~16:30	会場：本館3階 CAI 研修室	定員	25名
講座名	「Windows の支援機能をトコトン使う～ 特別なニーズのある児童生徒への入力支援～」			
講師	伊丹 一弘 先生 (大阪府立箕面支援学校 教諭) 田代 洋章 先生 (株式会社アシスト・アイ代表取締役)			
内容&紹介	内容:講義と実技の二段構えで、Windows 標準のアクセシビリティ機能について、皆さんと一緒に学びます。 ①ある支援学校でのパソコンの入力支援の例：ダブルクリックをシングルクリックに変更したり、ポインタを見やすいものに変更したりすることで格段に入力がしやすくなった例、キーボードシールやトラックボール、フリーソフトなどを紹介します。 ②「Windows のアクセシビリティ機能」の解説：教育センターのパソコン (Windows7) を使って「Windows のアクセシビリティ機能」の体験実習を行います。マイクロソフトの「アクセシビリティガイドブック」に沿って行います。 ③まとめとディスカッション：パソコンとタブレットの弱点と長所の比較、支援のころなどについて考えます。質問があれば、みんなで考えましょう。			
備考				

講座I	14日(木) 製作講座 10:00~12:00、13:00~14:00	会場：本館4階 電子技術実験室	定員	20名
講座名	「ぴかりん棒の製作」			
講師	田中 敏弥 先生 (大阪市立東住吉特別支援学校 教諭)			
内容&紹介	この講座では、児童生徒に対して運筆指導などで役立つ教具の製作を行います。製作するのは、指示棒の先に小さな発光ダイオードを付けた簡単な教具です。透明アクリル板の下から照らして、画面上に指示を与えるものです。タブレット全盛の最中、全くハイテクではありませんが、文字や図形を書く(描く)ことにどんな困難が伴っているのか現場のレベルで考察していきたいと思えます。 午前の講座で「ぴかりん棒」の制作、午後は「ぴかりん棒」の使い方と書字スキルに関わる指導・支援理論について講義を行います。			
備考	※事前に難しいところは、加工してあります。14日(木) 10:00 より制作を開始。午後について講義。			

講座J	15日(金) iPad教材作り 9:30~12:30 会場:別館4階 第6研修室	定員	20名
講座名	「iPad APP.ロイロノートを利用したビデオ教材づくり」		
講師	根本 貴明 先生(大阪府立箕面支援学校 教諭)		
内容&紹介			
<p>なぜ子どもたちは生の私よりもTVの中の私の方によく注目しています。何でやろう…。昔はビデオ教材を作るのって大変でした。機器も沢山あるし、時間なんてもう何時間あっても足りないくらい…「未来の文房具」を謳う「ロイロノート」というAPPをとiPadの機能をフルに活かすことで、これまでより簡単にビデオ教材を作ることができます。簡単な機能の説明をした後、皆さんに演習をしていただきます。」</p>			
備考			
※ロイロノートのインストールされたiPadをご持参下さい。			

講座K	15日(金) 講義と実演 9:30~12:30 会場:別館4階 第7研修室	定員	30名
講座名	「教材データベースの開発と運用」		
講師	西端 律子 先生(畿央大学現代教育学科 教授)		
内容&紹介			
<p>奈良県立奈良養護学校、東大阪大学とで共同開発をしている、「教材データベースの開発と運用」について概略およびデモンストレーションを行います。</p> <p>事前に、「教材共有ネットワーク」(<a href="http://www.narayogo.jp.org/">http://www.narayogo.jp.org/</a>)にて、アカウントを取得しておくことが望ましいです。なお、当日はゲストアカウントを用意するとともに、会員登録も可能な状況にしておきますが保証はいたしかねます。Windows系のノートパソコンやタブレット端末をお持ちの方はご持参ください。</p> <p>また、自前でWi-Fiルーターやテザリングなどネットワーク回線をご用意できる方は、ぜひお願いします。</p>			
備考			

講座L	15日(金) 9:30~12:30 会場:別館4階 第8研修室	定員	40名
講座名	「シンボルを使った教材とその活用方法~概念の指導とコミュニケーションの指導~」		
講師	岡田さゆり 先生(滋賀県立野洲養護学校 教諭) 永野 健一 先生(一般社団法人子ども発達総合支援会「さくら」 指導員) 藤澤 和子 先生(大和大学 教授) 榎場 政晴 先生(大阪府立茨木支援学校 指導教諭)		
内容&紹介			
<p>シンボルは、ただ単に情報を伝えたり、コミュニケーションをとったりするための「もの」だと思われがちです。しかし、シンボルを使う、シンボルを教えるということは、子どもたちにものごとの概念を教えていることになります。すなわち、意識してシンボルを利用すると学びの最も大切なところを指導することができます。このことを踏まえて、この講座では、街でよく見かける黒地に白抜きデザインのシンボル(PIC・JISの絵記号)を利用した教材の紹介とそれらを使った指導方法について紹介します。そして、シンボルの活用方法について、皆さんと一緒に考えたいと思います。</p>			
備考			

講座M	15日(金) iPad 体験会 9:30~12:30 会場: 別館5階 第9研修室	定員	30名
講座名	「iPadで教材を作ってみよう」		
講師	井上 賞子 先生 (松江市立意東小学校 教諭)		
内容&紹介			
<p>体験用のiPadを用意して、実際に触りながらの演習を予定しています。</p> <p>内容は、以下の3つを予定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習場面で有効なアプリを体験してみよう</li> <li>・アプリを使った教材作成の体験をしてみよう</li> <li>・よろず質問コーナー</li> </ul> <p>iPadに触ったことがないという方でも大丈夫です。「どんなことができるのか」を、まずはぜひ体験してみてください。</p>			
備考			
(体験用のiPadの台数が限られていますので、30人までとさせていただきます。)			

講座N	15日(金) 9:30~12:30 会場別館5階 第10研修室	定員	40名
講座名	マルチメディアDAISYの紹介と事例報告		
講師	田中 直壽 先生 (大阪府立和泉支援学校 指導教諭)		
内容&紹介			
<p>マルチメディアデイジー図書の紹介と大阪マルチメディアデイジー研究会が進めている小学校・中学校・支援学校でデイジー図書を使った授業実践の事例報告を行います。</p>			
備考			

講座O	15日(金) 9:30~12:30 会場: 本館3階 情報教育研修室	定員	20名
講座名	「パワーポイントで作るスイッチ教材ソフトの制作~オートスキャンもできるよ♪~」		
講師	竹島 久志 先生 (仙台高等専門学校 情報システム工学科 教授) 太田 恭平 先生 (仙台高等専門学校 情報システム工学科 学生) 小笠 原新 先生 (仙台高等専門学校 情報システム工学科 学生) 児玉 雅明 先生 (仙台高等専門学校 情報システム工学科 学生)		
内容&紹介			
<p>重度肢体不自由児の学習に必要な、クリック及び選択可能な学習ソフトをマイクロソフト社のパワーポイントで作ります。パワーポイントはプレゼンテーション制作ソフトですが、アニメーション機能等を利用することで学習ソフトの制作も行えます。前半は、パワーポイントを使ったスイッチ教材ソフトの基本動作をサンプルソフトの制作を通して説明します。後半は、各自オリジナルのクリック教材及び選択教材ソフト制作に挑戦します。</p>			
備考			
<p>情報教育研修室に設置してあるパソコンを使用します。</p> <p>使いたい写真等があれば、各自USBに入れて持ってきてください。</p> <p>講座Gと講座Oは同じ内容の講座です。ご都合の良い日にご参加ください。</p>			



講座P	15日(金) 9:30~12:30 会場:本館3階CAI研修室	定員	30名
講座名	「学校生活の流れを視覚化して、子どもにとって見通しのもてる手立てをパソコンで作ろう」		
講師	大前 洋介 先生、荒井 亮一 先生、新澤 勝彬 先生(神戸市立青陽東養護学校 教諭)		
内容&紹介			
<p>シンボル画像やフリーのイラストを使って、学校生活の1日の流れ、1週間の流れ、行事のプログラムなど自閉症スペクトラムの子どもたちが見通しをもって行動できるように視覚支援化しようという演習です。さまざまな場面で、ことばだけでなく視覚化できれば、もっと子どもたちは楽なのにといいながら、なかなか実行できない日々を送っていませんか。本講座では、パソコン上でワードやエクセルやパワーポイントといったソフトを利用して山本一寿先生が作られたオフィス DE ドロップスの使い方を演習していきます。</p> <p>エクセルやパワーポイントの使い方がいまひとつ理解できていない方も本講座をご活用ください。</p>			
備考			
CAI研修室のPCを使います。			

講座Q	15日(金) 製作講座 9:30~12:30 会場:本館4階 電子技術実験室	定員	20名
講座名	「BDアダプター・スイッチ・玩具の製作と活用」		
講師	禿 嘉人 先生 (東京都立光明特別支援学校 教諭) 外山 世志之 先生 (東京都立町田の丘学園 教諭) 谷本 式慶 先生 (東京都立八王子東特別支援学校 教諭) 平澤 庄吾 先生 (東京都立葛飾特別支援学校 教諭)		
内容&紹介			
<p>(材料費:BDアダプター・スイッチ2種※1・玩具とセットで1800円程度)</p> <p>オプションで「パルス出力付きスイッチラッチ&amp;タイマー※2」を製作可能です。(材料費:6000円)</p> <p>※1 プッシュタイプとひもスイッチの予定</p> <p>※2 仙台高専 竹島研究室開発。スイッチを押し続けることが難しい場合に、『スイッチラッチ&amp;タイマー』を使うと一定時間おもちゃ等をONにしたり(タイマー)、スイッチを押し続けなくてもONを継続させること(ラッチ)ができます。</p> <p><a href="http://www.sendai-nct.ac.jp/college/poster20140316.pdf">http://www.sendai-nct.ac.jp/college/poster20140316.pdf</a></p>			
備考			
材料費:BDアダプター・スイッチ2種※1・玩具とセットで1800円程度 オプションで「パルス出力付きスイッチラッチ&タイマー※2」を製作可能です。(材料費:6000円)			

講座R	15日(金) 13:30~16:30 会場:別館4階第7研修室	定員	60名
講座名	「近畿の先生 大集合」		
講師	大阪府立支援学校の先生		
内容&紹介			
「グループワーク」の講座です。詳しい内容がきまり次第、掲載します。しばらくお待ち下さい。			
備考			

講座S	15日(金) 13:30~16:30 本館3階 情報教育研修室	定員	25名
講座名	「教えて! ゴーグル先生」		
講師	秋 裕基 先生 (大阪府立視覚支援学校 教諭)		
内容&紹介			
<p>今更人に聞きにくい疑問や悩みを、ネットにある膨大な知識を借りて、解決への糸口を探る講座です。</p> <p>抱えている疑問をどのように検索していけばよいか、検索で得られた様々な知識や意見をどのようにして的確に収集していけばよいか。このように、検索から解決に向けた技術をお教えします。</p> <p>事前に疑問をお教えいただければ、実際にいくつか検索してみたいと思いますので、下記のメールアドレスによりしくお願いします。</p> <p><a href="mailto:T-AkiH@medu.pref.osaka.jp">T-AkiH@medu.pref.osaka.jp</a></p>			
備考			
情報教育研修室のPCを使います。			

講座T	15日(金) 13:30~16:30 会場: 本館3階CAI研修室	定員	25名
講座名	「Office ソフト活用初級講座~シンボルを貼り付けてみよう!」		
講師	岡本 崇志 先生 (大阪府立摂津支援学校 教諭)		
内容&紹介			
<p>この講座では、Microsoft 社の Office を実際に使い、教材作成に活用していく講座です。</p> <p>今回は主に、シンボルを使った支援の具体例を教材作成するとともに紹介していきます。シンボルは文字の読み書きが苦手な人たちの読み書き補助としても使われます。教材提示の際にどのように有効であるかを紹介します。</p> <p>また、Office の操作に慣れていない人でも、基本的な操作から説明していきますので、初めて教材作成をされるような方でも安心して参加できるようにいたします。</p>			
備考			
CAI研修室のPCを使います。			

講座U	15日(金) 13:30~16:30 会場: 本館4階 電子技術実験室	定員	20名
講座名	「スイッチ対応学習型赤外線リモコンの製作と活用」		
講師	禿 嘉人 先生 (東京都立光明特別支援学校 教諭) 外山 世志之 先生 (東京都立町田の丘学園 教諭) 谷本 式慶 先生 (東京都立八王子東特別支援学校 教諭) 平澤 庄吾 先生 (東京都立葛飾特別支援学校 教諭)		
内容&紹介			
<p>仙台高専 竹島研究室開発。(材料費: 5000円)</p> <p>★CD プレーヤーやテレビなどリモコンで操作できる機器を外部スイッチで操作できます。</p> <p>★リモコン信号は4種類記録でき、別々のスイッチで操作できます。</p> <p>★AC100V の制御するリモコンコンセント(オーム電機・別売) に対応した機能を備えます。</p> <p><a href="http://www.sendai-nct.ac.jp/college/uploads/121205koukai.pdf">http://www.sendai-nct.ac.jp/college/uploads/121205koukai.pdf</a></p>			
備考			
材料費: 5000円です。			